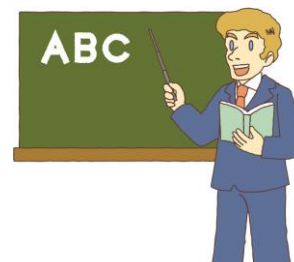


市長通信 輝く! あげお



Let's enjoy English

本市の小学校では、平成 32 年度実施の新学習指導要領の英語教育を 2 年間先行して実施しています。これは全国で約 3 割しか行っていません。

英語の授業は、担任と ALT（外国語指導助手）のチーム・ティーチングで行われ、コミュニケーション能力を育成する学習や、ALT と一緒に給食を食べたり、掃除をしたり、学校生活の中で英語に触れ合う機会を多く作っています。

先日、大石小学校を視察しました。昼休みを使って「^{イングリッシュ}English ^{カフェ}Cafe」が行われており、「クリスマスに何が欲しい？」

という ALT の質問に子どもたちは元気よく英語で応じます。私も一緒に英会話を楽しみました。

6 年生の授業では ALT は英語しか話しません。子どもたちはこれにしっかりと追随し、授業は英語のまま進みます。ALT と子どもたちが生きた英語をやり取りする光景に、私はとても感動しました。

先日、友好都市のオーストラリア・ロッキャーバレー市のターニャ・ミリガン市長ら訪問団の皆さんとお会いし、私自身、英語を話すことの大切さを痛感しました。

小学校での ALT との日常的な関わりを通して、「英語が分かった」、「英語が話せた」、という自信を子どもたちに身に付けてほしいと私は心から願っています。「生きた英語」に慣れ親しみながら、自然とコミュニケーション能力が養われる環境を教育委員会と連携してつくっていききたいと思います。



今後も交流を深めていきます（右・ミリガン市長）



私も English Cafe に参加しました

市長 畠山 稔